

事業所名		あすぷれい 田辺校				支援プログラム		作成日		6 年		4 月		1 日	
法人（事業所）理念		利用児及び保護者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な支援の提供をします。													
支援方針		利用児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、利用児等の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。													
営業時間			10 時		0 分から		12 時		0 分まで	送迎実施の有無		あり	なし		
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・ 集団生活への適応：専門職が、子どもの特性に応じた個別対応について園等に提案、子どもや家族に指導します。													
	運動・感覚	・ 子どもの身体能力、感覚の特性等を園等に伝え、子どもの特性に応じた個別対応等について園等に提案、子どもや家族に指導します。													
	認知・行動	・ 子どもの認知の偏りへの対応を園等に伝え、認知の特性を把握し情報を適切に処理できるような環境調整や支援者の関わり方の指導や調整を行います。また、保護者に対しても認知の偏り等の個々の特性に関する情報を伝えこだわりや偏食等に対する家庭での具体的な支援を提案します。 ・ 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害に対して事前に環境調整など予防策を講じ、適切行動の獲得に向けた適切な支援を行います。													
	言語 コミュニケーション	・ 人との相互作用によるコミュニケーション能力（言語やサインを含む）の獲得を支援します。 ・ 園や学校と連携を取り、子どもがわかりやすいコミュニケーション手段を提案します。													
	人間関係 社会性	・ 子どもの発達段階や特性に応じた環境調整並びに関わり方の提案を行い、子ども自身へも適切な行動を指導し、家族と共有します。 ・ 子どもの発達段階や特性に応じた環境調整並びに関わりにより、人との安定した関係を形成する支援をします。 ・ 一人遊びの状態から並行遊び、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担をしたりルールを守って遊ぶ協同遊びといった遊びの育ちを促し社会性の発達を支援します。 ・ 自己の理解とコントロールのための支援：子どもの発達段階に応じた支援者の関わり方を提案し、大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるようになるための支援をします。													
家族支援		個々のご家庭の状況に対応できるように、常に情報共有を行い、困りごとについての相談や支援を行います。また、ご家庭への訪問を行い状況把握に務めています。						移行支援		園や学校、他事業所など関係機関との情報共有や連携調整および就学先についての相談援助や準備支援をします。					
地域支援・地域連携		必要に応じて、関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。学校や他事業所と連携を行い情報を共有していくことで、更なる気づきを見つけ、本人の持っている力を引き出していけるように連携していきます。						職員の質の向上		・ 職種に合った内部研修・外部研修の受講					
主な行事等		・ 特に実施しておりません。													